



国土交通省 関東地方整備局  
長野国道事務所



信州大学工学部 水環境・土木工学科の就職活動を控えた学生さんを対象に、現場見学会を開催しました。  
できるだけ大勢の生徒さんに参加していただくために、コロナ対策も兼ねて完全WEB開催(現場⇄教室)となりました。

当日は、学業としての土木工学が実際に土木構造物の設計や施工にどう活かされているのかについて学んで頂きました。360°カメラによるリアルタイム中継や最新のICT技術の活用などの事例紹介を通して、建設業の魅力について再発見していただく機会となりました。

日 時:令和4年12月20日(火)  
工事場所:長野県上田市蒼久保  
参加人数:50名  
開催方法:WEB開催(Microsoft Teams)  
施工会社:清水建設株式会社

# 信州大学工学部 WEB現場見学会

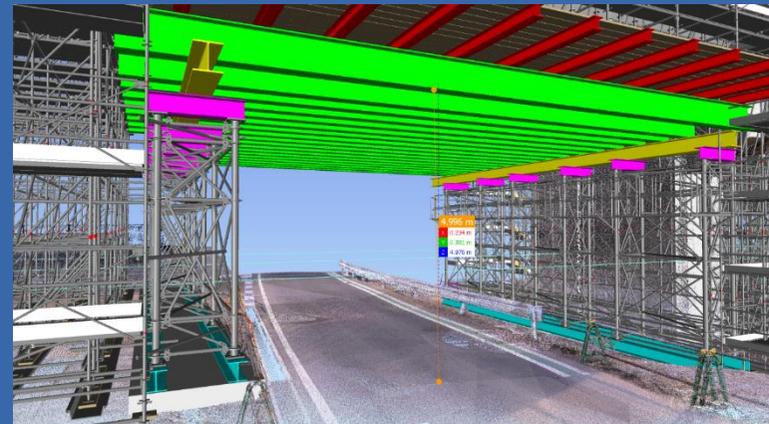
かんがわばし

## R3国道18号上田BP神川橋上部工事

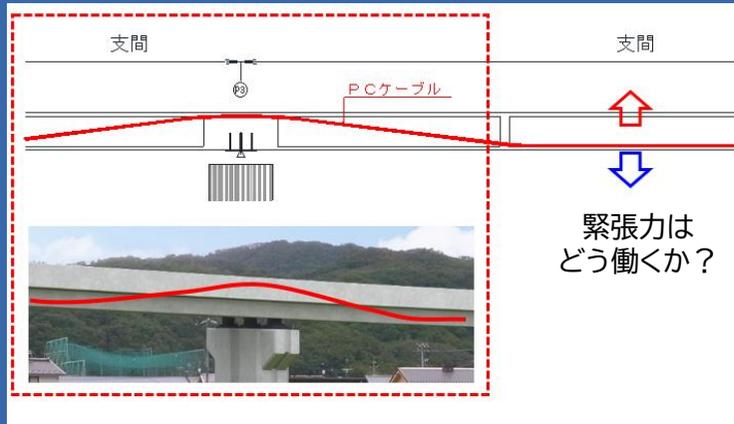
子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION

# 清水建設



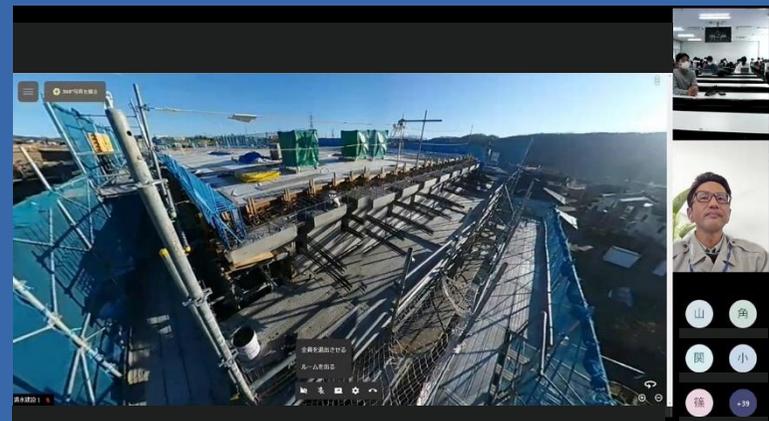
点群やCIMモデルを活用した施工管理



PCケーブルの配置

(事後アンケートより)

- 授業で学んだ知識が、実際の技術と一緒に聞くことで学びが深まりました。
- デジタル技術による働き方改革で、建設業への興味を持つことが出来ました。
- 建設業に対しては正直あまりいいイメージはなかったのですが、今回の話を聞いてイメージが良くなりました。
- 建設業に、より興味を持つようになりました。
- 生の声を聞いて建設業界はむしろ働きやすいのではないかと感じました。
- 様々な工夫をしながら仕事をするのはとても面白いのではないかと感じました。
- 見学会をきっかけにして、業界への理解をさらに深めて進路を決めようと思いました。
- 楽しみながら仕事をされているのが印象に残りました。自分が感じたことを大切に今後の就職活動に活かしたいです。



360°カメラによるリアルタイム中継



質問タイム